

福井県母性衛生学会



福井県母性衛生学会では、「すべての婦人の健康を守り、母性を健全に発達させ、母性機能を円滑に遂行させるために母性保護に関する研究、知識の普及、及び関係事業の発展を図り、以て人類の福祉に寄与する」ことを目的に、毎年1回の学術集会の開催などの活動を行っています。

令和6年度の学術集会は、午前中の福井県総合周産期勉強会に引き続き、下記の通り開催されました。

第37回福井県母性衛生学会 総会・学術集会

日時 令和6年6月30日（日）13:00～16:00

会場 福井県立大学 講堂

会長 鈴木秀文（福井愛育病院 院長）



イラスト提供：福井愛育病院 看護師 谷原 香花里

プログラム

特別講演 「周産期医療はどこへ向かうのか」

講師 鈴木秀文（福井県愛育病院 院長）

座長 吉田好雄（福井大学医学部産科婦人科学 教授）

一般演題発表 8題

総会

学術集会は、毎年6月～7月に開催しています。
次年度も、多くの方のご参加をお待ちしております。

福井県母性衛生学会事務局

福井駅西口

福井大学産科婦人科学教室および育成期看護学分野内